8.2 集合住宅の省CO_2化促進事業／既存住宅の断熱リフォーム支援事業（全体）

①断熱改修による快適な住環境の実現と結露・隙間風の改善を図った集合住宅の取組

YKK AP株式会社（東京都千代田区／金属製建具工事）

【HP】https://www.ykkapglobal.com/ja/　【備考】ー

赤文字：該当箇所 ｜ 灰色文字：該当外

補助事業の紹介

補助事業名	集合住宅の省CO_2化推進事業
補助事業の概要	① 新築低層ZEH-M促進事業 ② 新築中高層ZEH-M促進事業 ③ 既存集合住宅の断熱リフォーム支援事業 ③-1 既存集合住宅の断熱リフォーム支援事業（全体） ③-2 既存集合住宅の断熱リフォーム支援事業（個別）
実施目的	エネルギーの自給自足により災害にも強く、ヒートショック対策にもなるZEHの更なる普及、高断熱化を推進する。またエネルギー価格高騰への対応にも資する、現行の省エネ基準に適合しない既存住宅の断熱性能向上による省エネ・省CO_2化を行う。2030年度に目指すべき住宅の姿として、新築される住宅についてZEH基準の水準の省エネルギー性能の確保を目指す。2030年度の家庭部門からのCO_2排出量約7割削減（2013年度比）に貢献することを目指す。2050年度のカーボンニュートラル達成に向けて脱炭素社会を推進する。
交付対象	住宅取得者等
補助率	① 定額（40万円／戸、補助上限額：3億円） ② 1/3以内（補助上限額：1年あたり3億円） ③ 1/3以内（補助上限額：③-1 10億円、③-2 1億円）

①断熱改修による快適な住環境の実現と結露・隙間風の改善を図った集合住宅の取組

事業の概要

補助金額	補助金額	880万円
	補助率	1/3
導入設備	従前設備	既存住宅（断熱材無し）
	導入設備	断熱窓ガラス（Low-E複層ガラス、真空ガラス）、断熱玄関ドア
事業期間	稼働日	2024年11月
備考	総延床面積	3,444.36㎡



断熱窓ガラス



断熱玄関ドア

事業の効果

エネルギーコスト

▲約31（万円／年）

CO_2削減効果

約5（t-CO_2／年）

投資回収年数

ー（年）→ **ー**（年）

CO_2削減コスト

約11（万円／t-CO_2）

副次的効果

- **開口部の断熱性能向上により、冷暖房効率が改善し、エネルギー消費量および光熱費の削減が期待できる。**
- **結露やカビの発生が抑制され、居住空間の快適性と衛生環境が向上した。**

※ エネルギーコストは、電力単価：29.8円／kWh（出典：電力・ガス取引監視等委員会HP）を用いて試算。

事業者の声



里 晶彦 | YKK AP株式会社（設置メーカー） ビル本部西日本統括支社　関西改装支社　神戸改装支店

本件は、建具の不具合解消と地球温暖化対策を目的としたサッシ改修の提案事例です。

環境省の「既存住宅の断熱リフォーム支援事業」による助成金を活用し、断熱窓ガラス（Low-E複層ガラス）への交換やカバー工法によるサッシ改修、また扉芯材にグラスウールを採用した断熱玄関ドアへの交換を実施することで、開口部の断熱性能を大幅に向上させました。

改修後、居住者様からは「寒さが和らいだ」「操作性が良くなり、大変快適になった」とのお声をいただいております。

今後も、脱炭素社会の実現に向け、助成金を活用した断熱窓・サッシ及び断熱玄関ドアへの改修を積極的に提案し、地球温暖化対策に貢献してまいります。